

淡海生涯カレッジ20周年記念講演会 開催報告 概要

開設20年目を迎えた「淡海生涯カレッジ」の取組を振り返りながら、参加者が一緒になって、今後の滋賀県の生涯学習社会について考える機会とするため、記念講演会を開催しました。

■日時：平成28年2月6日（土） 13：20～16：00

■会場：滋賀県立男女共同参画センター 大ホール

■内容

滋賀県の生涯学習・社会教育に長年関わってこられ、淡海生涯カレッジの立ち上げにも御尽力いただいた、滋賀大学名誉教授の住岡英毅氏に御講演いただいたのち、過去10年間に開校した6校の取組内容等について、各校担当者から報告していただいたのち、各校の掲示を思い思いに眺めたりしながらの交流会を実施しました。

■参加者数 約80名

◆《講演》

講師：滋賀大学名誉教授 住岡 英毅 氏

演題：「生涯学習社会の教育を考える」

はじめに、今なぜ、生涯学習社会の教育が重要かということに触れられ、公教育の重要性を以下の3点を中心に、御自身のエピソードも交え、わかりやすくお話しいただきました。

①学校はどう変わらなければいけないか

家庭と地域との関係の希薄化は、地域から孤立した家庭を生み、保護者の子育てへの不安が直接学校への不満へと結びついている。家庭と地域が一体となって学校を応援していた頃とは違い、学校は安定した教育を施しにくい状況にある。これからの学校は、家庭や地域との協働関係が求められるが、そのためには学校も変わっていかなくてはならない。まず、「見える学校」運営として、地域に開かれた学校、教育への本気度を誠実に発信していく学校へと転換していかなくてはならない。また、「組織としての学校」づくりとして、学校外の多様な機関との連携の推進、教職員間の同僚性の確保等を通して、起きたことへの組織的な対応をしていく必要がある。

②創造する社会教育、「新しい公共」に向けて

フィンランドの教育は、国を支えていく人材を育てることにお金をかけないでどうする、といった考えのもと、様々な公共サービスが行われている。日本の公教育費は先進国の中でGDP比最下位。もっと本気にならなければいけない。

これまでのように、地域課題に行政が対応するだけでは地域のニーズが満たされなくなってきた。行政だけでなく、市民の参加と選択のもと、NPOや企業も主体となって身近な分野で共助の精神をもって行われる仕組みである「新しい公共」を進めていくべきである。そのような中、社会教育が焦点をあててしていくべきこととして、これまでの教育や福祉における空白領域（宗教的情操、食育、体験、体力等）に着目し、地域課題解決のための諸能力の育成、地域づくりにつながる学習の推進、ボランティアの育成、現代的課題に関わる学習指導者の育成、日本の伝統文化・芸術・芸能の継承等がある。

③公教育から迫る「人の繋がりと信頼」

人の繋がりや信頼が薄れている今日、社会教育はこの部分に迫ることができる。例えば、学校と地域の協働関係の構築では、地域の公民館や団体が学校と関わり、子どもを育てる中で、人と人とのつながりを醸成させていくことができる。また、公民館や図書館等の社会教育施設では、法的整備のもと様々な社会教育が行われている。これらの施設は非常に大切な教育施設であり、採算を重視して、本来の教育としての情熱を放棄するようなことはあってはならないと考える。

災害時の人々の助け合い等、日本は他国が認めるコミュニティ形成国である。そのような日本の公教育に誇りを持ち、その仕組みを自らなくすことのないよう公教育に力を注ぐべきである。



◆参加者の声

- ・経済的には生活が豊かになりましたが、人と人の繋がりが非常に希薄となり、自己中心（個人）的な生活スタイルが本流になる今日現在において、今一度、公教育のあり方、特に学校教育、社会教育、家庭教育のつながりを考える良い機会になりました。
- ・「人の繋がり」が今求められていることを改めて感じました。公教育を国が強化し、誰もが利用しやすく、身近なものとして位置づけ、孤立化しない社会を作っていけたらと思います。
- ・地域活動を実施しているので、自信を持って続けていけそうです。
- ・“未来志向”を考えることの重たい“今”ですが、考えるためのヒントと手がかりをいただきました。

◆《交流会》

はじめに、各校の取組について順番に説明していただき、その後自由に展示等を見ていただきました。淡海生涯カレッジをきっかけに立ち上がったサークルによる体験ブースもありました。



湖南校



甲賀校



草津校



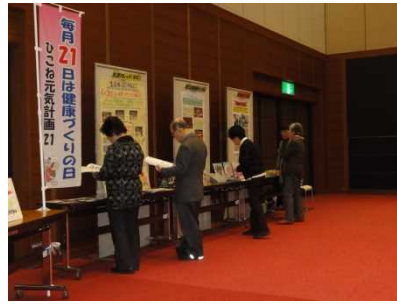
大津校



長浜校



彦根校



◆参加者の声

- ・各校での実践活動の報告が素晴らしいものがあり、全ての学びに感謝いたします。
- ・他の学校の方ともお話ができて、良い勉強になりました。
- ・一緒に学んだ人に久しぶりに会えたことが良かった。

★今後の自身の学びに対する考え等

- ・社会教育の中に、健康や防災を含めたものを学んでいきたい。
- ・高齢者の地域サロンを開催しています。地域の見守りとしてやっていければと思っています。
- ・今、具体的な考えはありませんが、今後の課題として取り組み方を考えたいと思う。
- ・現在の仲間との交流をさらに活発化していきたい。
- ・今の自分の居場所で頑張ってみます。